



かぜ 合志の旋風 ～自律貢献～

令和7年9月5日（金）No 17 発行
文責：松本 卓也

なぜ僕らは働くのか？ ～職場体験学習～

2日（火）から4日（木）まで2年生職場体験学習を実施しました。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために、キャリア教育として、1年生では「はたらく人々の仕事と考える」、2年生では「職場体験学習」、3年生では「高校体験入学」に取り組んでいます。

この3日間、子どもたちは、自分の適性や興味・関心をもとに選択した74の事業所で、実際に仕事を経験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験していました。3日間の職場体験を終えての子どもたちの感想です。



- ・病院にいるわんちゃん（犬）で、採血するときどうするかや支え方などを実際にさせてもらいました。難しかったけれども、いい経験をさせてもらいました。
- ・1日目でいろいろな仕事を覚えることができ、自分から気づいて動いて仕事をすることができたのでよかったです。
- ・不動産の仕事は、しっかり責任を持って行うことが大切。信頼される人が仕事に向いていることがわかりました。

受け入れてくださった事業所の方からは、子どもたちの頑張る姿に、「最初は緊張していて幼児の扱い方が不慣れでしたが、時間が経つにつれて笑顔がでてきました」等、多くのお褒めの言葉と感想をいただきました。

フリージャーナリストとして活躍されている池上彰氏が監修を務めた児童書「なぜ僕らは働くのか」の中で、いろいろな仕事の共通点は「誰かの役に立っている」ことであり、働く答えの1つは、「助け合いでつくられるこの社会の一員になるため」と述べています。実際に仕事をしている人の思いや、体験することで得た意義や新たな可能性から、「なりたい自分になるために、今、何をすべきか？」を考えてほしいと思います。よりよい社会の形成者となるために、結果がわからなくても、リスクがあったとしても、自分がやってみたかったらまず行動してほしいと願っています。受け入れていただいた事業所の皆様方、改めて、大変お世話になりました。



教師修養 ～ゴール見て わくわくしながら じつくりと 考えたあと 振り返るかな～

8月25日（月）、菊池教育事務所のI指導主事をお招きして、「児童生徒を学びの主体とする授業づくり」について校内研修を行いました。①授業で身に付ける力と、②単元を通した学習課題の作り方について、全国学力・学習状況調査の結果やこれまで取り組まれた多くの実践からわかりやすく教えてくださいました。熱意に溢れた語り口に、「ワクワクが止まらない授業を私たちも創っていききたい！」と職員一同、思いを新たにしました。



ようこそ、先輩！第2弾 ～教育実習開始～

今月1日（月）から3週間、本校卒業生のIさんが養護教諭になるための教育実習を行います。大学で学んできた児童生徒への対応や保健指導、保健事務等について、実践の場で体験を通して学びを深めます。養護教諭を目指す理由を尋ねたところ、「病気のために学校に行けない子どもたちが多いことを知り、自分が看護師の知識を身に付けた養護教諭になることで役に立ちたいからです」とご自身の経験を踏まえて話してくれました。Iさんの夢が実現できるよう、サポートしていききたいと思います。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）